



発行年月日 2021年4月15日

発行人 明治大学校友会東久留米地域支部

責任者 義江邦夫

編集者 夏目・當麻・川島



INDEX

①支部設立10周年にあたり

②令和3年度東久留米地域支部定時総会案内

③設立10年の足跡(イベント編)

④母校・明治大学の最近の話題

⑤校友会本部・多摩支部からのお知らせ

⑥東久留米地域支部からのお知らせ

## 支部設立10周年にあたり



会員の皆様には、日頃から会の活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、我が国でも緊急事態宣言が発せられる等、日常生活が困難に直面している状況が1年以上も続いております。

校友会活動だけ見ましても、昨年秋と夏に各々開催される等でした香川県での全国大会、立川市での多摩支部総会は中止のやむなきに至り、東久留米地域支部の総会もメールで開催するという予想もしない状況となりました。

平成23年、東久留米市内に住む卒業生有志数人の熱意により設立されました当支部も、今年で満10年を迎えることになりました。

年1回の支部総会と懇親会、企画イベントとしての母校訪問、話題スポットへの日帰り散策や工場見学、女子会主催のお茶会、年2回のゴルフコンペ或いは、母校ラグビー試合の観戦等、できるだけ多くの会員のご参加を願い活動しているところです。

一日も早くこのコロナが終息し、皆で元気に校友会活動が再開できますことを願うばかりです。会員それぞれの経験からくる情報を交換し、互いに刺激を受けることは愉快なことであり、リタイア後の過ごし方を見つけようとする校友の新しい出会いの場となればとも思っています。

明治を愛する市内在住の皆様、是非行事にご参加いただき、楽しいひと時を一緒に過ごしましょう。楽しみにお待ちしております。 **東久留米地域支部長 義江邦夫**



### ■設立当時の思い出

当初、多摩支部から地域支部を立ち上げてほしいとの要請があり、有志8名程に声がかかりました。義江支部長の奥様と私が絵の会で一緒だったというご縁で支部長にも声をお掛けました。多摩支部より預った名簿で、東久留米市内に700名以上の校友がいた事に驚きましたが、皆で資金を出し合っチャラシを作り、校友を訪問しながら、往復ハガキでまずは60歳以上、のちにそれ未満の校友に連絡して、最終的には250名程の賛同を集めました。

それから月2回くらいのペースで集まり、校友会本部と連絡を取りながら会則を作り、一緒に活動できる校友を勧誘しました。活動する中で、校友会に対する意見認識の違いから脱会する人が出たこともありましたが、会に残るよう説得したことを覚えています。

ようやく2011年6月12日に第1回にあたる設立総会が54名の出席者を迎えて開催されました。今思えば、なにかガサガサやっていただけのような感じですが、今日まで続けることができ嬉しく思います。

**副支部長 永倉聡一**

### ■明大校友会東久留米地域支部の足跡

- 平成22年頃より東久留米市在住の明治大学卒業生の有志が校友会の設立に向け会合を持つ。
- 同年10月31日 多摩支部役員4名・地元から10名が出席、校友会の趣旨、目的などを協議。
- 平成23年2月19日 約30名の校友が参加して、設立に向けての準備会開催。
- 同年6月12日 設立総会(第1回)・懇親会(於:東久留米市商工会館) 市内在住700余名に設立を呼びかけ、250名の賛同を得、多摩支部の下部組織として発足 出席者54名 多摩支部より役員3名参加
- 同年6月18日 第1回役員会 出席者6名 これより毎月1回のペースで開催することとなる。
- 同年11月 明治大学校友会より正式に承認を得、駿河台キャンパスにて支部旗の授与式が行われる。
- 平成24年5月27日 第2回総会・懇親会(於:東久留米市商工会館)
- 平成25年5月26日 第3回総会・懇親会

- 平成26年5月25日 第4回総会・懇親会
- 平成27年5月24日 第5回総会・懇親会
- 平成28年5月29日 第6回総会・懇親会 (於:成美教育文化会館)※これより会場を商工会館から成美教育文化会館へ移す。
- 平成29年5月21日 第7回総会・懇親会
- 平成30年5月20日 第8回総会・懇親会
- 令和元年5月25日 第9回総会・懇親会
- 令和2年5月23日 第10回総会 非常事態宣言発令、施設閉鎖 中止



## 令和3年度明治大学校友会 東久留米地域支部定時総会のご案内

コロナウイルスが未だ収束しない状況であり、昨年とはコロナ禍において懇親会は中止し、総会のみで開催とせざるを得ませんでした。本年につきましても昨今の状況により懇親会は開催せず、総会のみで開催と致します。是非ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

**日時** 令和3年5月22日(土)午後1時から  
**場所** 成美教育文化会館・大研修室(3F)  
〒203-0014 東久留米市東本町8-14  
TEL 042-471-6600

**議案** 令和2年度事業・決算・監査の各報告  
令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)  
・役員改選・その他

※出欠につきましては、同封されております返信用のハガキにて令和3年5月7日(金)までにご連絡ください。

### ■令和3年度の役員・幹事候補

- 地域支部長 義江邦夫(昭39・商)
- 副支部長 峯岸文男(昭46・院農)
- 副支部長 松江康司(昭49・法)
- 幹事長 伊藤謙一(昭46・経営)
- 総務担当 島津進一(昭55・工)
- 同 田淵幹夫(昭57・商)
- 会計担当 並木文子(昭57・商)
- 広報担当 當麻睦生(昭61・工)
- 同 川島英明(昭63・政経)
- 事業担当 倉田易生(昭37・法)
- 同 長谷川正次(昭51・商)
- 同 柴田 威(昭58・法)
- 女子会担当 江波洋子(昭37・短経)
- 地域担当 永倉聡一(昭26・工)
- 同 夏目 忠(昭32・商)
- 同 小関裕弘(昭32・政経)
- 同 當麻一哉(昭61・工)
- 監査 橋 素子(昭57・法)
- 監査 大原康雄(昭61・政経)

## 支部設立10年の足跡(イベント編)

### ■散策会

散策同好会も14回を数え、地元や沿線、母校キャンパスなどいろいろな場所を散策しました。中でも柳窪界隈の散策(村野邸見学、黒目川上流の湧水など)や秩父羊山公園の芝桜などが好評でした。

私が平成25年(3周年)より事業担当幹事になり、主に明大キャンパス見学会中心の研修会を企画しました。たまたま理工・文学部の兼任講師だったので4キャンパス、附属施設に知人が多くおり、順調に計画遂行出来ました。駿河台、生田、中野、和泉の順に、更に附属施設として黒川農場、八幡山グラントを見学、10人~15人位の参加でしたが、昔の学生時代と比べものならないリパティタワーをはじめとする近代的な立派な施設を体験でき、感動されたと思います。どの施設も我々を暖かく迎え入れ丁寧な説明案内をしていただきました。関係者に改めてお礼申し上げます。

見学後は学生の使用する食堂、図書館、売店なども体験出来ました。特に印象に残ったのは、我々のために著名な教授が率先して出張案内をして頂いた「登戸研究所資料館」と「黒川農場」です。充実した近代的な施設や国際化、女子学生の多さ等は目に見張るものの、今も昔も建学の精神の下に多様な「個」を磨き、自らの道を切り開いて「前へ」進んでいくスピリットは変わらないと思いました。(記: 峯岸文男)

■「母校・明治大学(駿河台キャンパス)訪問」  
平成27年3月14日



平成26年1月25日



■「村野家住宅・天神社など古き柳窪界隈の散策」



平成26年3月29日

■「及川鳴り物博物館と水の回廊」



■「明治大学和泉キャンパス見学」令和元年10月19日



■「明治大学中野キャンパス見学」平成29年3月25日



■「山崎製パン武蔵野工場見学会」  
令和元年6月22日

東久留米市内にある山崎製パン武蔵野工場見学会を同社出身の義江支部長のお骨折りで開催しました。工場の敷地は、東京ドームの1.5倍もあり、パンや洋菓子の製造工程を見学しました。職員や現場の作業員の礼儀正しい対応に感動いたしました。



■「秩父「羊山公園」芝桜鑑賞」  
平成28年4月23日



■「明治大学平和教育登戸研究所資料館」  
平成27年10月17日



■「明治大学黒川農場見学」平成30年5月29日

## 女子会

女子会では、ご自慢の人脉を生かして、外部講師によるお話の会やお茶会など様々なイベントにトライしました。中でも東久留米に在住した小説家「藤沢周平」を語る会では、校友以外の一般の方の参加もあり、大変興味深い会となりました。

平成24年3月初めの女子会は橋さんと顔合わせ会をしましょうと北口の橋家に集まりました。9人参加し、そこで「飲み会では面白くない、校友会や地域に関するイベントをしたい!」との声が上がりました。第1回は役員から弁護士佐々木先生に依頼して、成年後見人について講義していただきました。2回目は校友会員の北村さんをお願いし、語り部とともに「民話の世界」を話していただきました。

東久留米の野鳥や、野草、七福神といろいろな催しをしましたが、平成26年の「藤沢周平を語る会」は図書館の視聴覚室がいっぱいになるほどの盛況。長い間藤沢周平担当記者であった阿部達二さんを招きプライベートのことも話されました。参加者からは「阿部さんに藤沢周平の背景や小菅(本名)さんが、金山町に住んでいて、黒目川をモデルに橋を書いたことを聞き、同じ空間に今いることができ幸せでした。」という感想が寄せられました。また、恒例になりつつある義江様宅のお茶会もとても楽しく行っています。校友の皆様、是非女子会主催のイベントにご参加ください。(記:江波洋子)



地域支部校友の北村規子さんと「あどがたりの会」による民話のお話



講師:竹内俊雄さん(郷土史家)

お話の会「民話のせかい」平成25年10月19日

「わが町の誇れる歴史」平成29年7月8日



お話の会「藤沢周平を語る」平成26年4月12日



義江支部長邸でのお茶会は、令和元年11月に第2回が開催され恒例となっています。



「春の野草観察会」平成27年5月10日

本格的に小説の執筆を始めたころに東久留米に在住していた、「藤沢周平」と交流のあった阿部氏を講師に招き開催

「お茶会」平成28年5月14日

## 関東大学ラグビー明早戦応援観戦

毎年恒例の大学ラグビー明早戦。母校選手の姿に自分の思いを映して、一喜一憂している年配OBの様子に共感します。



1987年12月6日、16年に亘る大阪勤務より帰京後の数名の友人とラグビー明早戦を観戦に初代国立競技場へ出掛けました。前日の大雪にもかかわらず、6万人を超える満員の大観衆、前半は7対7の同点、後半、早稲田がPG成功で10対7とリードして終盤に入りました。除雪はしたもの、グラウンドはぬかるみ、ボールは水を含んで重くなり、足は滑り、選手たちにとっては最悪の状態でしたが、早稲田のペナルティでゴール前に迫った明治がフォワード戦を挑み、再三のスクラムで押しまくると早稲田も必死に防戦、両軍のユニフォームから湯気が立ち上り、ロスタイムを含め最後の20分間は、興奮のルツボでした。残念ながら敗れましたが、とても感動した戦いでした。北島監督の選手を迎える笑顔がとても印象に残っています。

今年は、天理大学に敗れましたが、早稲田には快勝し、対抗戦グループでは、優勝しました。入場制限でチケットが取れない中でも、後輩校友がほぼ全試合手配してくれました。ありがたいことです。(記:小関 裕弘)

## 明球会親睦ゴルフ

近隣地域支部のメンバーにも参加いただき、ゴルフ好きの仲間が集まり、年2回親睦ゴルフコンペを開催しております。会の名称は、名付けて「明球会」。すでに18回を数えます。



### ◆歴代優勝者(敬称略)

- |            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 第1回:倉田易生   | 第9回:岸川隆英  | 第15回:小関裕弘 |
| 第2回:倉田易生   | (小平地域支部)  | 第16回:田淵幹夫 |
| 第3回:石川忠男   | 第10回:堀内義重 | 第17回:倉田易生 |
| 第4回:倉田易生   | 第11回:義江邦夫 | 第18回:川島英明 |
| 第5回:松江くに子  | 第12回:岸川隆英 |           |
| (松江副支部長夫人) | (小平地域支部)  |           |
| 第6回:倉田易生   | 第13回:倉田易生 |           |
| 第7回:倉田易生   | 第14回:清水春樹 |           |
| 第8回:倉田易生   | (小平地域支部)  |           |

## 明治大学マンドリン倶楽部OB会演奏会

平成28年10月2日、念願のマンドリン演奏会を主催しました。演奏していただいたのは、明治大学マンドリン倶楽部OB会で結成している「メモリアルオーケストラ」。会場となった生涯学習センター「まろにえホール」は、会員や家族、友人、知人など250名の参加となりました。



明大マンドリン倶楽部OBで編成されたメモリアルオーケストラによる演奏

校友と家族・友人・知人の皆様と古賀メロディーを堪能



母校から鈴木理事、校友会多摩支部西山支部長、東久留米市並木市長をお招きしました。



## 母校・明治大学の最近の話題

### ■創立140周年を迎える

明治大学は本年1月17日に創立140周年を迎えた。当初は明治法律学校として現在の有楽町・数寄屋橋交差点近くの島原藩邸跡にフランス法を中心に教育に当たった。現在は駿河台・和泉・生田・中野の4キャンパスに、10学部及び大学院12研究科と専門職大学院付属高校・中学を有する我が国屈指の総合大学として地位を確立。

### ■子どものこころクリニックが開院

明治大学の心理臨床センターは1月15日に明治大学子どものこころクリニックを駿河台キャンパス研究棟に開院し、児童精神科の治療を開始した。医療系学部を持たない大学としては異例の取り組みとして注目されている。診療科目は児童精神科・精神科・心療内科で院長のほか3人のカウンセラーが対応する。

### ■「明大祭」「生明祭」をオンラインで開催

毎年、秋の風物詩として学生、父兄、校友に人気の明大祭と生明祭はオンラインで開催された。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止が決定されたが明大生の文化の発信を絶やしてはいけないとの強い思いからオンライン形式での実施に切り替えて特設ホームページが作られて3日間公開された。その間に35000件のアクセスがあった。

### ■令和3年度の一般選抜志願者は

新型コロナウイルスの感染拡大、少子化、地方回帰などによる志願者の減少が心配された令和3年度の一般選抜志願者は、全学部で99,470人(3月10日現在)と予想以上の志願者を集めた。これは明治大学が都市型大学の特性を生かし海外留学、時代に即応した講座やゼミの充実など評価されたものと思われる。志願者数の順位は2位。

### ■入学式は4月7日・武道館

令和2年度の入学式と合同開催  
明治大学の今年度の入学式は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じたうえで4月7日(木)に九段の日本武道館で三部制に分かれて開催される。同時にコロナ禍で中止を余儀なくされた20年度の入学式も行うため、今回は父兄家族の参加は中止となった。このためにインターネットで式典の様相を全国に配信される。

### ■新年度の4月からの授業を対面授業へ

明治大学は2021年度の授業をオンライン授業から対面授業に切り替える準備を始めた。三密の回避をはじめ徹底した感染予防策を講じて通学を前提とした対面授業となる。コロナにより通学が困難な学生には同じ内容をオンライン形式で配信する。

### ■10月28日を「校歌の日」に制定

広く明治大学の関係者から愛されている「白雲なびく駿河台の・・・」の明大校歌が昨年で生誕100周年を迎えたのを機に制定されたもの。児玉花外作詞・山田耕作作曲による校歌は明大が大学令に基づき大学に認可された大正9年秋に制定され、同年10月28日に明大ハーモニカソサエティの演奏会の公の場で初演されたことによる。

## 校友会本部・多摩支部からのお知らせ

### ■校友会本部からのお知らせ

- 支部長・幹事長・地域支部長・本部員懇談会 7月17日(土) 於:アカデミーコモン
- 第24回ホームカミングデー 10月17日(日) 於:駿河台キャンパス  
校友やその家族・友人を母校に迎えるホームカミングデーが開催されます。全校対象ですので、どなたでも自由に参加できる一大イベントです。毎年多くの校友や家族が参加しています。駿河台キャンパス内の各会場では、後援会やコンサート、物産展などが催され充実した一日を過ごすことができます。開会式などに特別招待される校友には、8月に事務局から招待状が届きます。
- 第57回全国校友福島大会 11月7日(日) 於:とうほう・みんなの文化センター(福島県福島市)  
年に一度、全国各地の校友が一堂に会し旧交を温め、母校を協賛する明治大学校友会主催の「全国校友大会」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら中止となりました。
- 卒業生表彰式 2021年3月21日(祝日) 於:紫紺館

### ■多摩支部からのお知らせ

- 第18回多摩支部総会 6月27日(日)  
於:ホテルエミシア東京立川  
多摩地区在住の校友が多数出席されますので、学生時代の思い出話などを通して親睦・交流が期待できます。

## 東久留米地域支部からのお知らせ

### ■第20回明球会親睦ゴルフコンペのご案内

当支部の最大イベント東久留米明球会の親睦ゴルフコンペが6月2日(水)埼玉県本庄市丘陵地にあります児玉カントリー倶楽部にて開催されます。競技ゴルフではなく、あくまでも親睦が目的ですので、初心者から上級者まで和気あいあいとゴルフが楽しめます。近隣支部の方にも参加いただいております。スコアを気にせず一緒に緑の絨毯を闊歩しませんか。

開催日:令和3年6月2日(水)  
場所:児玉カントリー倶楽部  
問合せ:倉田(080-8880-0883)まで

### ■年会費(3,000円)納入(振込)のお願い

東久留米地域支部の本年度の年会費は、同封の振込用紙を使用して納入ください。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

### ~編集後記~

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東久留米地域支部の活動も自粛せざるを得なくなる中で、設立10周年を迎えました。本来であれば、特別なイベントを企画し、校友の皆様で祝賀すべきところですが、10周年記念会報を発行するに留まりました。今までの活動の足跡を振り返ることはもちろんですが、発行するからには、今までと違った形のものにしたいと思い、思い切って紙面そのものを変えてみました。ご年配の校友会役員で10周年を機に一線を退くことを希望されておられる方もいる中で、新しい世代に見合うものに感じていただければ幸いです。(編集者)